

CEATEC 2020 ONLINE、10月20日に開幕

「Society 5.0の総合展」に今年は好きな時間、好きな場所から来場可能

今年は史上初のオンライン開催

CEATEC 2020 ONLINE(主催:一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)など)が10月20日(火)に開幕する。今年は新型コロナウイルス感染症による状況を鑑み、従来とは異なり、初のオンライン開催となる。会期は23日(金)までの4日間で、会期以降は12月末までオンデマンド形式にて公開される。

CEATECは、デジタル家電の祭典として家電見本市のイメージが強かったものを、2016年にそのイメージを一新。開催テーマに「つながる社会、共創する未来」を掲げ、CPS/IoTなどのテクノロジーを活用した未来社会を発信する展示会へと大きく舵を切った。いまでは、業種や産業を超えた連携による事業創出や世界各国との政策連携なども含めた「共創」を生み出す場としての認知も広がっており、毎年新たな出展者を迎えながら、「Society 5.0の総合展」として、業界の垣根を超えて、幅広い業種の企業や団体が集まる展示会となっている。

例年は幕張メッセでの開催だが、今年はオンライン開催ということで、これまでのCEATECとは異なる新しい取り組みとして展開される。「CEATEC - Toward Society 5.0 with the New Normal(ニューノーマル社会と共に歩むCEATEC)」をスローガンに掲げ、コンセプトとして「New Normal(Society 5.0の実現と共に新たな社会への提案)」、「Digital Transformation(オンライン開催ならではのDX実現の提案)」、「Anytime & Anywhere(いつでも、どこからでも参加できる新たな枠組みの提案)」の3つが設定されている。オンライン上に構築する会場(WEBサイト)において、出展者が集結する展示エリアならびに主催者によるコンファレンスの映像配信を展開し、出展者と参加者がこれからのニューノーマル社会を考え共創していくための場として開催される。

キーワードは「ニューノーマル」、ソリューションやサービス、まちづくりにも注目

展示エリアで特に注目を集めそうなのが、「ニューノーマルテーマエリア」。新型コロナウイルス感染症がもたらした「新たな暮らし(ニューノーマル)」をキーワードに、持続的かつ豊かな暮らしを実現するための新たなソリューションやテクノロジー、サービスが紹介される。「ニューノーマルソリューションズ」「ニューノーマル社会を支える要素技術・デバイス」「デジタルまちづくり」の3つのカテゴリーのもと、テーマごとに複数の出展者が参画してページを構成し、展開する予定だ。その中でも「デジタルまちづくり」には地方自治体や大手建設会社が出展するなど、ニューノーマルにおける新たな取り組みとして話題を呼びそうだ。その他の展示エリアにおいても注目のサービスや先端テクノロジーが勢揃いする見込みで、初のオンライン開催で各出展者がどんな工夫を凝らした展示を展開するのか、

コンテンツや発信の方法も含め、見逃せない展示が多くなりそうだ。

オンラインとリアルハイブリッド開催を見据えて

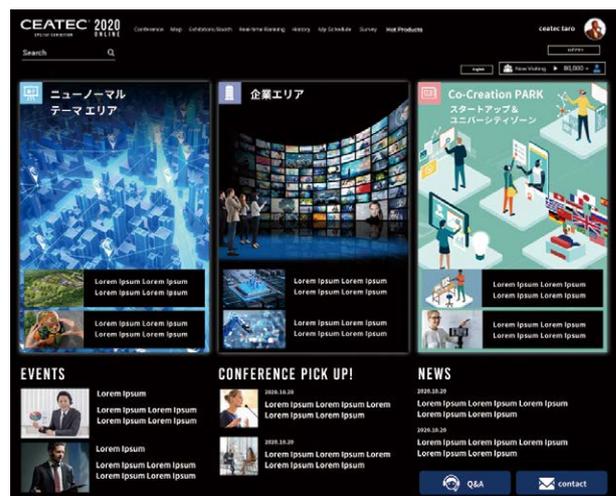
今年はオンライン開催ということで、来場者は自分の好きな時間、好きな場所からCEATECに来場することができる。また、ほぼすべてのコンテンツが日本語と英語の両方で展開される。そのため日本国内のみならず、世界各地から来場が可能となるため、これまでなかなか会場を訪れることができなかった人にとって絶好の機会となるはずだ。オンライン開催ならではのメリットを活かし、じっくりと時間をかけて展示ブースを回るもよし、多彩なコンファレンスに耳を傾けるもよし、Society 5.0に向けた各出展者の取り組みに注目してほしい。

また、来年以降、CEATECはオンラインとリアルを組み合わせたハイブリッド開催を目指すことを明らかにしている。2021年を見据えて、今年のオンライン開催に注目したい。

CEATEC 2020 ONLINEの参加方法

CEATECは全来場者登録制となっており、一人ずつオンライン上で登録が必要だ。学生から社会人まで誰でも無償で来場することができる。テクノロジーの活用をリードする、あらゆる産業・業種のフロントランナー企業の取り組みを知ることは、これからの社会や未来を考える上でのヒントになるはずだ。ニューノーマル社会のこれからの共創する機会としてぜひ活用してほしい。

CEATEC 2020 ONLINEの詳細は公式WEBサイト (<https://www.ceatec.com/>) にて。



CEATEC 2020 ONLINEのエンタランスイメージ